

豊和村つくり協議会第5回総会

2020年4月3日(日)

豊和コミュニティーセンター

- 1 代表あいさつ
- 2 来賓あいさつ
- 3 2021年度の報告・質疑
- 4 基金の使用状況、及び監査報告の承認
- 5 規約の改正
- 6 その他

I 2021年度（第4期）の報告

1 協議会開催状況と協議事項

○第1回協議会 2021年7月11日

① 夏休みこども教室について

- ・夏休みなども「こども教室」があると良いというママさんたちの声があることから、運営経費を基金から助成し、実行委員会方式で実施することとなった。

② 「とくし丸」への協力について

- ・協議会が行った地域アンケートでも「買い物が不便」という声が多くあり、「移動スーパー」の必要性があること、「地域づくり協力隊」を活用しての取り組みを市と相談して進めたが実現していない中で、ナリタヤさんが、「とくし丸」の運行を計画、豊和地区内も対象として利用者を募集したことから、基金の助成対象の要件を満たしていないので助成金支給はできないが、協議会としてチラシを配布するなど協力していくこととした。

③ 開畑の不法投棄について

④ 農山漁村振興交付金を活用した地域活性化対策への応募について

○第2回協議会 2021年10月3日

① 小学校（5年生）の米づくり体験授業について

- ・PTAとして行っていくことが困難となり、SOSAプロジェクトが引きついていくこととなったことから35,000円の助成金を出していくこととした。

② 「地域づくり事業起ち上げ基金」（仮称）について

- ・制度の起ち上げについて、無利子融資とするか助成金とするか、弁護士の意見も聞きながら検討していくこととなった。

○第3回協議会 2021年12月12日

① 「地域づくり事業起ち上げ基金」（仮称）について

- ・前回の協議を踏まえて、制度の内容について協議した。

② 冬休み「こども教室」について

- ・夏休みと同様に実施することになった。

③ 保育所から各教室のテレビの要望があり、設置することとなった。

○第4回協議会 2022年3月13日

① 「地域づくり事業起ち上げ基金」について

- ・地域で必要な事業の起ち上げを支援し、住みやすい地域と移住者の増加や定着

につなげていくことを目的とし、助成金制度を設けることになった。

② 移住者やUターン者への支援制度について

- ・ 匝瑳市の助成の対象とならない移住者、及びUターン者に対して一時金として15万円を支給する。(住民票を匝瑳市に移さない「二拠点移住」の場合は、7万5000円)
- ・ Uターン者、移住者(移住後3年以内の者を含む)のリホーム費用を助成する。

③ 春休み「こども教室」について

- ・ これまで同様に助成金を出す。

④ 小学校1年生へのお祝金(助成金)について

- ・ 7人に各2万円を支給する。

⑤ 小学校からの要望について

- ・ 放課後教室へのテレビとDVDについては、設置(寄贈)する。
- ・ エアコンの設置については、市の対応や必要な経費なども考慮して検討。7月までには結論をだす。

2 村づくり基金の使用状況

今期、基金から支援、支出した主なものは以下のとおりです。コロナ感染症による活動の自粛などがありいつもより少なくなっています。

① 災害時非常電源工事費用	46,200円
② 耕作放棄地復元助成金	54,000円
③ 「こども教室」助成(夏・冬)	1,78,457円
④ チューリップ植え助成金	21,400円
⑤ 保育所へテレビ寄贈	124,340円
⑥ 小学校米づくり体験助成	20,000円
⑦ 小学校入学支援金(7人)	140,000円
⑧ 放課後教室へテレビ寄贈	66,400円

3 村づくり基金の受け入れ状況

設備の事業者から拠出頂いた基金の金額は、以下のとおりです。「市民エネルギーちば」が設備を増やし、「SBIエナジー株式会社」が新たに設備を設置したことから総額で昨年より13万円増加しました。

○匝瑳ソーラーシェアリング合同会社	200万円
○市民エネルギーちば株式会社	78万円
○千葉エコ・エネルギー株式会社	30万円
○株式会社 イージーパワー	12万円
○株式会社 横浜環境デザイン	6万円
○YKD エナジー合同会社	6万円
○株式会社 市民ソーラー	6万円
○宮下さん（市民エネルギーちば役員）	6万円
○辻井さん（元パタゴニア日本支社長）	5万円
○SBI エナジー株式会社（新規）	4万円
合計金額	353万円

4 参加団体・個人と役員

1) 参加団体・個人は以下のとおりです。新たな参加者はありません。

飯塚開畑環境保全会、北総東部土地改良区飯塚分区、SOSAプロジェクト、
豊和小学校、豊和小学校PTA、豊和保育所保護者会、飯塚区、大寺区、内山区、
青少年相談員、豊葉会、農業委員、豊和地区社協、市民エネルギーちば株式会社、
匝瑳ソーラーシェアリング合同会社、Three little birds 合同会社

2) 役員

代表 高坂 勝 (SOSA PROJECT)
会計監査 越川 俊幸 (豊和地区社協)
事務局・会計 椿 茂雄 (飯塚開畑環境保全会)

II 今年度からの新たな取り組みについて

1 移住者、Uターン者に対する支援制度について

市の支援の対象とならない移住者やUターン者に対して、以下の支援を行います。

- ① 15万円の一時金の支給（住民票を移さない「二拠点移住者」は半額）
- ② リホーム費用の支援

2 「地域づくり事業起ち上げ基金」の創設

地域で必要となるサービスや事業であるにも関わらず起業が困難なサービスや事業の起ち上げを支援することで、住みやすい地域づくりと移住者の増加や定着につなげていくことを目的として、「地域づくり事業起ち上げ基金」を創設します。

この基金から前記の趣旨に合う事業に対して、一定の条件の下で助成金として支給し、期間を設けて賛助会費として回収していくこととします。具体的な内容は、別紙の「地域づくり事業起ち上げ基金」運用規定をご覧ください。

<参考>

「村づくり基金」とは？

飯塚・開畑地区にあるソーラーシェアリング発電設備から地域のために出される資金で、①飯塚開畑地区の農地の保全や農業支援 ②豊和地区の環境保全と活性化 ③将来を担う子供たちの育成 ④地域のための活動への支援を目的としています。使用については、地域のみなさんの要望を踏まえて村づくり協議会で協議して決めています。

上記の趣旨に沿った取組みであれば、支援（助成金）の対象となりますので活用ください。

* 以下のような制度（支援金）もあります、

1 移住希望者と空家とのマッチング

- ① 村づくり協議会のホームページに空家を掲載してくれた場合の謝礼（3000 円）
- ② 移住者と空家のマッチングが成功した場合、マッチングした方と家主に5万円の謝礼。

2 耕作放棄地の畑への復元費用の助成

豊和地区の方、若しくは豊和地区で農業を行っている方が豊和地区内の耕作放棄地を畑に戻して耕作を行う場合、復元費用を助成（1万円、又は1万5000円）します。但し、地権者が自らの農地を復元する場合は除きます。

村づくり基金収支報告

収 入	金 額
前年度繰り越し	3,484,805
基金収入	3,530,000
助成金	50,000
預金利子	49
合 計	7,064,854
支 出	金 額
災害時非常電源工事	46,200
耕作放棄地復元助成金	54,000
夏休み「こども教室」助成金	854,178
チューリップ植え助成金	21,400
保育所テレビ、DVD寄贈	124,340
小学校米づくり体験助成金	20,000
冬休み「こども教室」助成金	224,279
小学校入学支援金(7人)	140,000
放課後教室テレビ寄贈	70,780
小 計	1,555,177
会報発行料(3号分)	87,880
HP利用料	13,230
事務経費	40,285
その他経費	9,268
小 計	150,663
合 計	1,705,840

次年度繰越金 5,359,014 円

<会計監査報告>

村づくり基金の2021年4月1日から2022年3月31日までの使用状況について監査した結果、収支報告にあるとおり正當に処理されていることを報告します。

2022年4月1日

会計監査

越 川 俊 幸 